

ROBO-TV ツリービューア 200 Ver.7

かんたん 操作ガイド

一般ユーザー向け


対象: ツリービューア 200 Ver7.05.00 対応 (Ver7.00.06 以降)

本ガイドは、ROBO-TV の専用ビューア「ツリービューア 200(以下ツリービューア)」の基本的な操作を説明します。
詳細については、「ツリービューア 200 Ver7 操作ガイド」を参照して下さい。

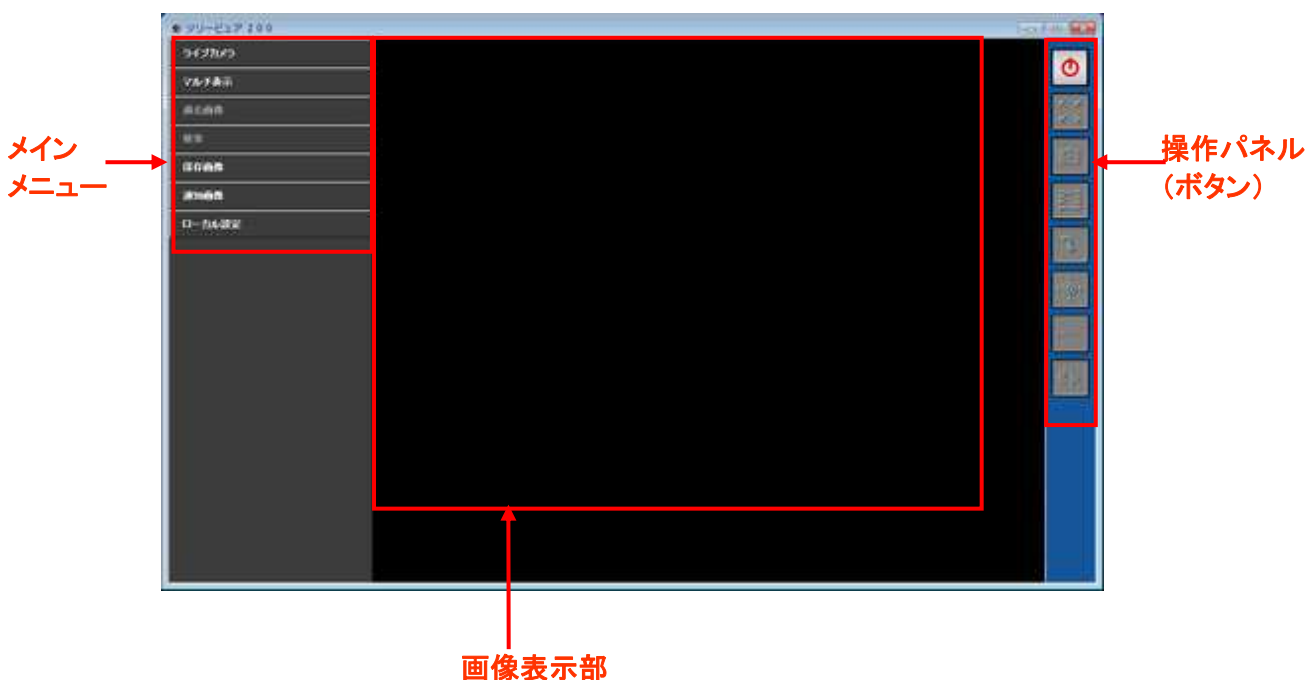
■ かんたん操作ガイドの流れ



1. ツリービューアの起動

- ① デスクトップのショートカットアイコン  ツリービューア 200 ショートカット 1 KB をダブルクリックするか、Cドライブの下記の場所に「TVC」フォルダができています。
C:\Program Files\Atcs\Tvc このフォルダ内の、「TVC.exe」をダブルクリックします。
● 「TVC」フォルダを任意の場所に置いた場合は、その場所の「TVC.exe」をダブルクリックで起動してください。
- ② ツリービューアが起動します。

【起動後表示イメージ】



2. ライブ映像の表示

① ライブ画像の表示は、ツリービューアのメインメニュー「ライブカメラ」をクリックし、機器をツリー表示します。

②クリックすると録画サーバーアイコンを表示します。

②クリックすると録画サーバーに登録されたカメラを表示します。(右図)

サーバーに登録されたカメラ一覧。表示するカメラをクリック。

④ ツリー表示から見たいカメラをクリックするとそのカメラのライブ映像を表示します。

【ライブカメラ画面表示】

操作ボタン説明

- 「ツリービューア終了」
- 「フルスクリーン表示」
- 「静止画の保存」
- 「動画保存」
- 「再生画像のダウンロード」
- 「PTZ カメラ制御呼出」
- 「接点 ON/OFF 切替」
- 「音声コントロール」

映像フレーム情報表示部: (左から) 日付、時刻、level※、解像度、フレームレート、映像サイズ(Byte)
 level: 画像変化レベルの表示(H.264 で録画サーバーに登録している場合は意味がありません)

メインメニュー部

点線枠のボタンは、対応カメラ以外はグレーアウト表示になり使用不可です。
 「接点 ON/OFF」ボタンは、本ソフト Ver.6.03.02 以降になります。

● 便利な機能: デジタルズーム

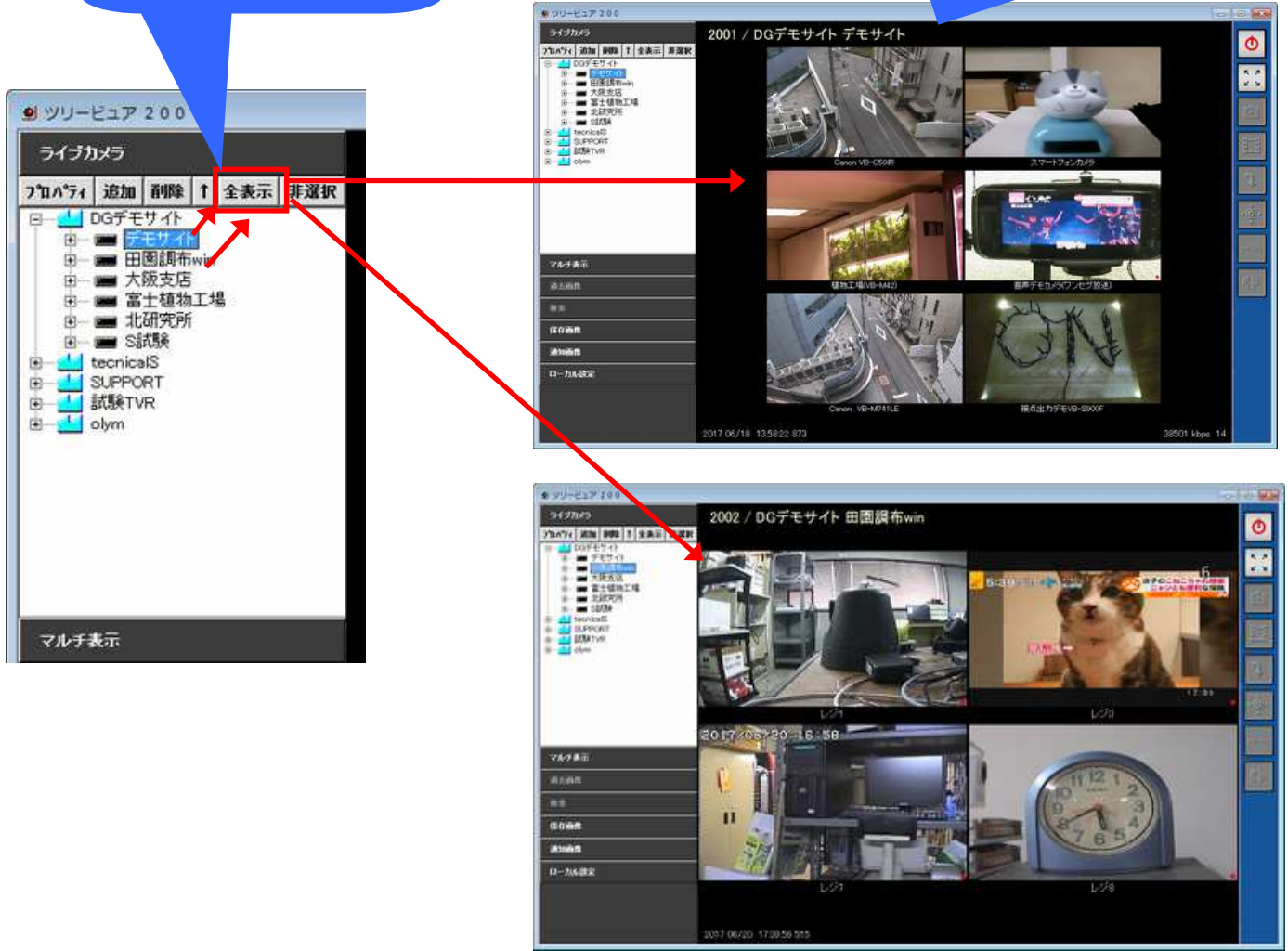
表示している画像の上にカーソルをあて、ホイールを回すとカーソルを当てた部分の拡大、縮小が行えます。
 【前方へ回す(正転)】: 拡大 (2倍→4倍→8倍→16倍) / 【手前へ回す(逆転)】縮小

【ライブカメラ 全表示機能】

録画サーバーを複数管理しているお客様には、便利な機能です。

サーバーアイコンを指定して「全表示」ボタンクリック

録画サーバー単位に登録しているカメラを一括表示！



カメラ画像をクリックすると一画面で表示します。一画面すると「検索」「再生」等の操作が可能です。

3. マルチ表示

- ① 複数のカメラを1画面に分割表示したい場合は、メインメニュー「マルチ表示」をクリックします。
- ② 「ライブカメラ」で設定した接続先を表示しますので、「マルチ表示」を行うカメラを選択(最大 200 まで)します。

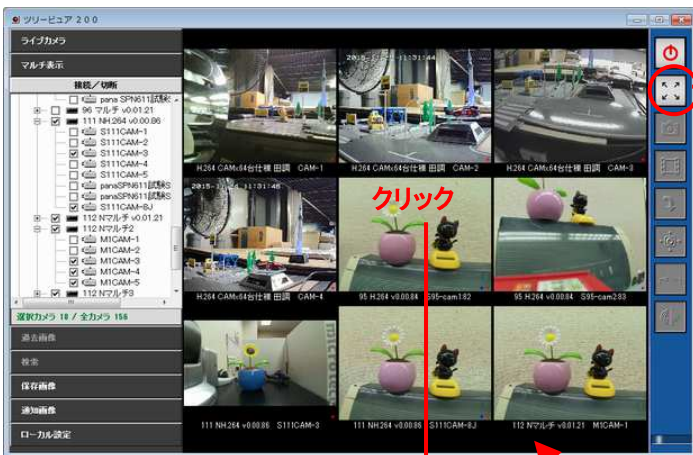


「接続／切断 (表示、非表示)」切替ボタン

表示したい「場所」「録画サーバー」「カメラ」にチェックを付けます。カメラの上位にチェックがないと、カメラにチェックをしても表示しません。

「選択カメラ数 / 全カメラ数」がわかります。(ver6.03.00 以降)
※200 を超えるマルチ表示はできません。

- ③ カメラ選択後「接続／切断」ボタンをクリックすると、下図のように分割表示をします。フルスクリーンも可能です。



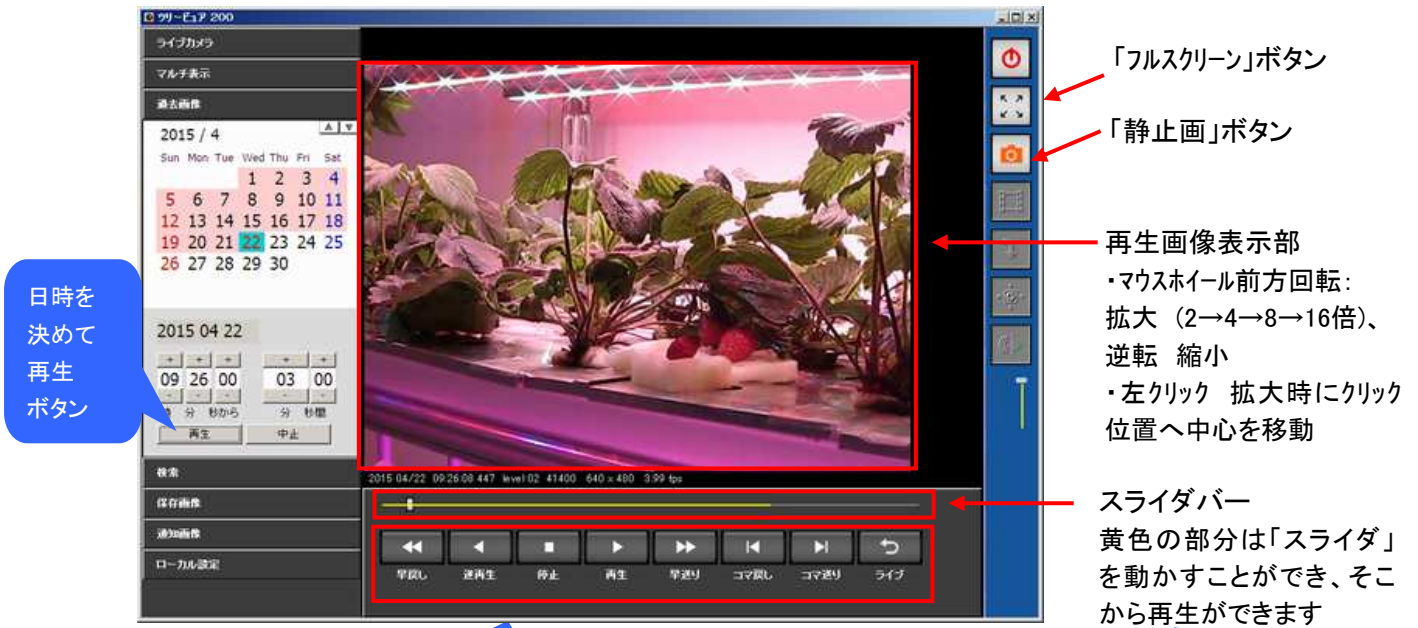
右下隅をクリックするとメニュー画面に戻ります。

【参考】マルチ表示の分割画面数の設定、変更は、メインメニュー「ローカル設定」→ システム設定画面「マルチ表示」タブの「区画数」に表示したい数を入力します。巡回設定を行う場合は、同画面の「巡回表示」にチェックと秒を指定します。

4. 録画データの再生

- ① 過去画像の再生は、メインメニュー「ライブカメラ」でまず再生したいカメラを選択します。
●「マルチ表示」メニューで表示している場合は、画面からカメラ画像選択してクリックし1画面表示にします。
- ② メインメニュー「過去画像」をクリックし、画面が切替りカレンダー/時刻が表示します(下画面)。
- ③ カレンダー一部で日時を指定し、左下の「再生」ボタンをクリックで過去画像が再生できます。
ご注意:1回の再生で再生できる画像は最大2GBまでです。

【再生画面イメージ】



操作ボタン説明

ボタン名	説明	フルスクリーン時のキーボードキー
早戻し※	クリックする毎に2→4→8→16倍速、逆再生。	↓:(1/2→1/4→1/8倍速)
逆再生※	逆再生。早送り・早戻し最中にクリックすると実速度に戻ります。	R:(JPEG録画時のみ)
停止	停止	P:(押下毎に、再生⇔停止)
再生	再生。早送り・早戻し最中にクリックすると実速度に戻ります。	P:(押下毎に、再生⇔停止)
早送り	クリックする毎に2→4→8→16倍速、再生。	↑:(2→4→8→16倍速)
コマ戻し※	1コマ毎、戻します。	←:(JPEG録画時のみ)
コマ送り	1コマ毎、進めます。	→
ライブ	ライブ表示に戻ります。別の時間での再生や、別カメラの再生を行いたい場合には、一度ライブに戻し再度操作して下さい。	

※ H.264形式録画の場合は使用不可です。

● その他のフルスクリーン時のキーボード操作キー

「ESC、Enter、(マウスの右クリック)」→フルスクリーン解除。「スペース」→速度再生へ復帰。

4. 録画データの再生 検索機能

事件を早急に見つけたい！ 静止画間隔を、24 時間/6 時間/1 時間/10 分/1 分/10 秒/1 秒でドリルダウン表示が可能です。見つけた静止画から再生ができます。

ご注意： 本機能は録画サーバーが H.264 対応機の場合はファームウェア Ver0.20.01 (2016/4/28 リリース)以降で、本ソフトが Ver6.05.03 で対応しました。これら以前の H.264 対応機、ツリービューアではこの機能は使用できません。

【検索画面イメージ】



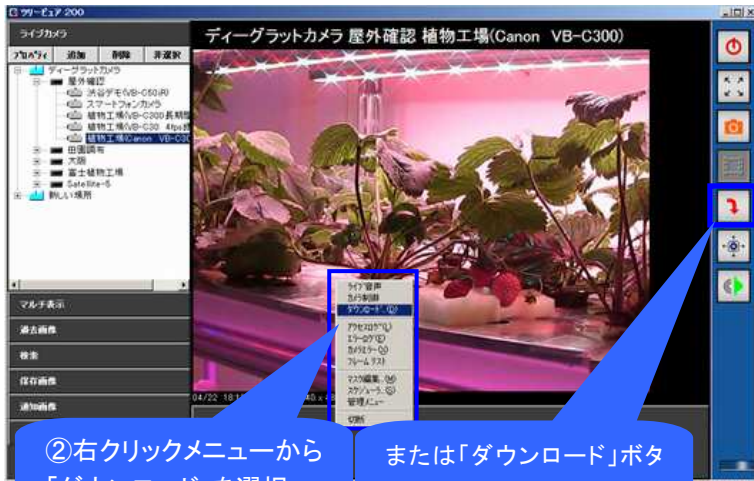
No.	名称	操作部説明
1)	表示時刻	検索を開始する日時をキー入力で指定します。
2)	表示間隔	表示する画像のコマ間隔を、24 時間/6 時間/1 時間/10 分/1 分/10 秒/1 秒から選択します。
3)	連続画像	チェックをすると、表示時刻から以降全てのコマ(表示間隔を無視)を、強制的に右の画像表示部に表示します。
4)	「表示」ボタン	指定表示時刻から指定表示間隔で 12 コマの画像を右の画像表示部に表示します。
5)	「範囲拡大」ボタン	ボタンを押す毎に、表示間隔を1段階長くして画像を再表示します。
6)	「記録範囲」ボタン	表示時刻(検索開始日時)欄に、録画サーバーに保存されているそのカメラの録画データの一番古い日時を表示します。
7)	「<<<」ボタン	1 コマずつ戻ります。 (画像表示部、12 コマの先頭のコマが1つずつ古くなります。)
8)	「>>>」ボタン	1 コマずつ送ります。 (画像表示部、12 コマの最後のコマが1つずつ新しくなります。)
9)	「前頁」ボタン	現在表示している前の 12 コマの画像を表示します。
10)	「次頁」ボタン	現在表示している次の 12 コマの画像を表示します。

5. データを PC にダウンロードする(基本)

ダウンロードとは、録画サーバーに保存されている録画データを、ツリービューア PC の HDD 等へ保存することです。

- ダウンロードしたい期間等を指定し、指定した保存場所へ、CVI 形式(独自形式)ファイルで保存します。
- ダウンロードによって録画サーバーの録画データが、消去または削除される事はありません。

① まずは「画像のダウンロード」画面を表示します。ダウンロード対象カメラが一画面表示の時に可能です。



②右クリックメニューから「ダウンロード」を選択

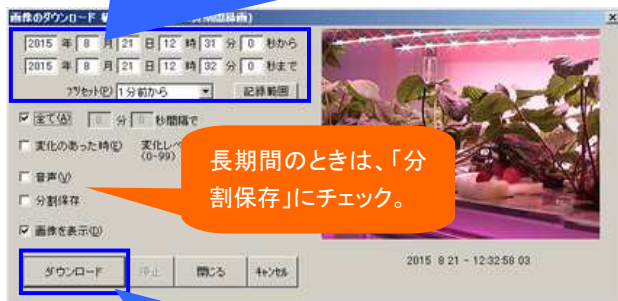
または「ダウンロード」ボタンをクリック。

【「画像のダウンロード」画面】



ポイント！
ダウンロードを少しでも早めたい場合は、「画像を表示」のチェックをはずして下さい。

③ダウンロードしたい画像の期間を直接入力するか、「プリセット」で選択します。



長期間のときは、「分割保存」にチェック。


④クリックで、ダウンロード開始。



⑤ダウンロード終了で、「閉じる」ボタンが表示しますのでクリックします。



⑥「はい」をクリックし、ダウンロードした録画データを再生します。

⑦再生した録画データを保存する場合には、操作パネルの  を実行します。「動画を保存」画面を表示しますので、任意で保存する場所、ファイル名を指定して保存します。

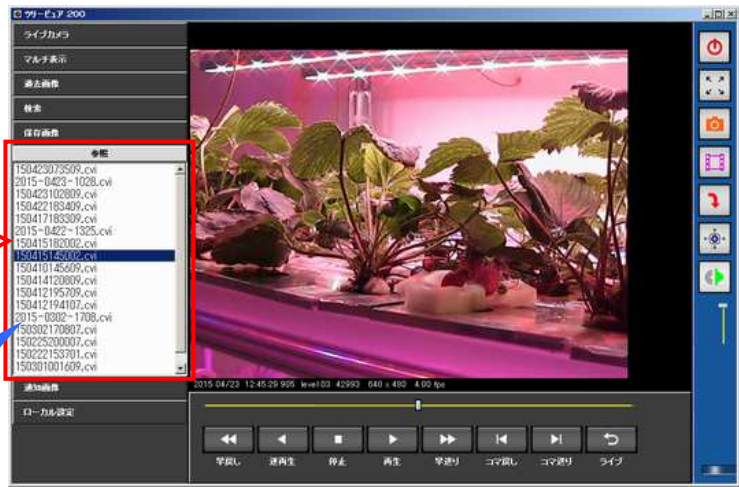
ご注意: ダウンロード 1 ファイルの容量の上限は 2,047MB です。超える場合は「分割保存」を行う必要があります。
ダウンロードの詳しい操作については、「ツリービューア 200 Ver7 操作ガイド」を参照して下さい。

6. 保存画像(CVIファイル)の再生

① ダウンロード等で保存された録画データを再生するにはメインメニュー「保存画像」をクリックします。

保存ファイルリスト
 ご注意: 操作パネルの「動画保存」で保存された場合に、直近の 20 ファイルをリスト表示します。

②再生したいデータがある場合は、ダブルクリックで再生ができます。



保存ファイルを探して再生する

①リストの上の「参照」ボタンをクリックします。



②「ファイルを開く」画面を表示します。再生したいファイルを指定し開きます。

③ 画像表示部に「過去画像」メニューと同じ再生用画面を表示し、再生が始まります。

【参考】録画データ(CVI ファイル)を第三者に提供する場合には、ツリービューア CD にある **CVI 再生専用フリーソフト「PMP」と一緒に配布**して下さい。ツリービューアのない PC でも CVI ファイルを再生する事ができます。

